

ご挨拶



豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授
未来ビークルシティリサーチセンター

センター長 大平 孝

平成 27 年 4 月に当センターが第 3 期の活動をスタートし、はや 4 年の月日が経とうとしています。当センターは、スマート未来ビークルシティ事業として「低炭素社会と産業育成コア」、「低炭素社会と安全・安心コア」、「低炭素社会と先端省エネルギーコア」の 3 つのコアからなる組織のもと研究開発に取り組んでいます。具体的には化石燃料依存から脱却できる産業の育成と省エネルギーの革新的研究開発、ITC 技術などを活用した様々な世代の交通弱者に配慮した安全安心な交通環境の実現を目指しています。

特に本年度は未来ビークルシティ実現のキーテクノロジーであるエネルギー蓄積技術開発に向けた研究成果としてリチウムイオン電池の性能向上を狙うカーボンナノチューブ、全固体リチウム電池用正極、カルシウムイオン電池の実現に向けた電解液の構造に関するプレスリリース 3 件を行いました。また河川やダムで活躍する点検ロボットに水中で非接触充電する実験についてもプレスリリースを行いました。さらに未来ビークル都市を創造する鍵となるワイヤレス電力伝送に関するシンポジウムを開催しました。ワイヤレス電力伝送技術を活用することによりドローン充電ステーションの無人化を狙う内閣府プロジェクトに応募し、採択され、研究を開始しました。写真はそのための基本実験の様子です。以上の研究成果により、本リサーチセンターは新年度も継続して活動してまいります。皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

